

# 平成21年産米の生産調整

## 村の生産目標は1.1トンの増



村の需要量は  
5,034.46t  
(981.22ha)

国では、米の消費量が年々減少する中で、米の消費・生産・需給に関する動向分析に加え、平成十九年産米から農業者・農業者団体・認定方針作成者が主体的に需給調整を行ってきた、需給調整システムの円滑な実施に向け取り組んでいます。

また、村では平成二十一年度も生産者の自主的な取り組みを基本に、水田を活用した産地づくりによる農業所得の向上など、安定した農業収入が図れるよう、関係機関と協力し推進します。

### 県への 需要量情報

国は昨年十二月、平成二十一年産米の都道府県別の需要量に関する情報を示しました。

二十一年産米の需要量情報は、全国的に横ばい。新潟県産米においても、需要実績が14/15年をピークに減少。特に17/18年は、消費者の低価格志向が強まり、それを背景とした販売不振から12/13年から五年間続いていた需要実績六十万ト台、全国シェア七%を大きく割り込むまでに低下しました。

19/20年については、食料品全般の価格が上昇する中で、比較的価格が安定している米

に需要がシフトしたことなどにより増加し、需要実績は六〇・九万ト、全国シェアは七・一%となりました。

米の需要量は回復基調にあるものの、過去の変動幅等が考慮され、新潟県への需要量情報は五十七万ト。17/18年産米の販売不振で需要実績が減少していることや、都道府県別の生産調整達成・未達成の不公平感の是正等が要因となり、前年より千四百九十トの減少となりました。

### 市町村への 需要量情報

県では、市町村への需要量情報の提供について、改革に向けて努力する農業者や産地が報われる米政策改革の算定を継続し、改革要素の割合を九割から十割に向上させました。昨年産から設けられた「新・品揃え枠」「農業者・協議会裁量枠」は引き続き継続されています。

また、生産調整の取り組みに関する公平性の確保に配慮し、該当市町村に対し過剰生産度合に応じて三千三百七十

村への米の需要量情報(数量配分)

区分	平成20年度配分	平成21年度配分	比較
米生産目標数	5,033,360kg (83,889俵)	5,034,460kg (83,907俵)	1,100kgの増 (18俵の増)
面積換算値	974.00ha	981.22ha	6.22haの増

九トを削減しています。

村への需要量は「新・品揃え枠」と「農業者・協議会裁量枠」を含めて、五千三十四・四六ト(八万三千九百七俵)。平成二十年産米と比較して一・一トの増加となり、面積換算で九百八十一・二二ト増加となりました。

平成20年度転作面積の内訳 (単位: ha)

区分	作物名	面積
一般作物	大豆	10.82
	そば	10.50
	飼料作物	4.93
	その他	3.31
	計	29.55
永年生	果樹等	8.18
特例作物	野菜等	37.05
	山菜等	11.32
	計	48.37
小計	作物作付計	86.11
その他	景観作物	1.18
	調整水田等	27.81
	自己保全管理	138.39
	林地等	7.49
	その他(補償田等)	9.31
	計	184.17
水稲作付	主食用水稲	892.69
	加工用米	27.23
	学童農園	0.19
	特別調整水稲	82.27
	計	1,002.38
合計		1,272.66

県では、二十一年産米についても、コシヒカリ作付率の引き下げや需要に応じた他品種の生産を推進。消費者や実需者の多様なニーズへの対応強化を目的とする「新・品揃え枠」は、二百四十六・七二トで、昨年の二百三十六・四七トと比較して十・二五トの増加となりました。

新・品揃え枠は、これまでと同様に希望制で、各認定方針作成者（JA等）が取りま

新・品揃え枠は  
希望者に!!

努力する農業者や産地が報われる配分ルールの設定を目的とした「農業者・協議会裁量枠」は百五十一トで、昨年の百四・〇三トと比較して四十五・九七トの増加となりました。

「農業者・協議会裁量枠」は、認定農業者等の担い手の他、環境に配慮した栽培や学校給食へ米を供給する農家等へ配分される予定です。

農業者・協議会裁量枠  
は担い手を中心に!!

二十一年度の国及び県の生産調整関係の各種支援対策は、産地確立交付金、新需給調整システム定着交付金、水田等有効活用交付金、稲作構造改革促進交付金等が予定されています。

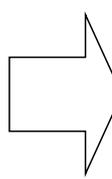
また、各地区のプランに沿った施策を継続。村単独助成により支援します。例えば、各地区で振興する作物については、各地区上位二作物について、「地区営農プラン振興作物加算」として支援を予定しています。

地区営農プランに  
沿った支援策



米政策改革要素の割合の推移と今後

16～20年産の改革要素					
改革要素	16年産	17年産	18年産	19年産	20年産
需要実績	32%	40%	48%	57%	78%
品揃え枠		2,700t	3,000t	4,100t	新・品揃え枠
結びつき枠	935t	3,000t	4,200t	6,700t	17,500t
品質の状況	5%	7.5%	10%	12%	10%
担い手の状況	2%	2.5%	3%	3.5%	農業者・協議会裁量枠
環境保全型農業	600t	1,200t	1,800t	2,400t	
中山間地域対策	735t	937t	1,160t	1,360t	
合計	40%	51%	63%	74%	90%
従来ベース	60%	49%	36%	26%	10%



21年産の改革要素	
改革要素	21年産
需要実績	84%
新・品揃え枠	18,276t
品質の状況	13%
農業者・協議会裁量枠	3%
合計	100%
従来ベース	0%